数理工学 演習課題 (24章) 2016年11月18日

24.A 区間 $[-\pi,\pi]$ で定義された関数 f(t) を関数

$$f_N(t) = \frac{\alpha_0}{2} + \sum_{n=1}^{N} (\alpha_n \cos nt + \beta_n \sin nt)$$

で近似することを考える. このとき, 次の平均2乗誤差

$$\frac{1}{2\pi} ||f_N(t) - f(t)||^2 = \frac{1}{2\pi} \int_{-\pi}^{\pi} (f_N(t) - f(t))^2 dt$$

が最小になるような $f_N(t)$ の係数 $\alpha_0, \alpha_1, \ldots, \alpha_N, \beta_1, \ldots, \beta_N$ が、 f(t) のフーリエ係数に一致することを証明せよ.

24.B

(1) 次の関数 f(t) を区間 $[-\pi,\pi]$ においてフーリエ級数展開せよ.

$$f(t) = \begin{cases} -a, & -\pi \le t < 0 \\ a, & 0 \le t < \pi \end{cases}$$
 $(a > 0)$

(2) 次の等式を示せ.

$$\frac{\pi}{4} = 1 - \frac{1}{3} + \frac{1}{5} - \frac{1}{7} + \dots$$

24.C

- (1) $f(t) = \cos \omega t$ を区間 $[-\pi, \pi]$ においてフーリエ級数展開せよ.ただし, ω は整数でない実数である.
- (2) 次の等式を示せ.

$$\frac{\omega\pi}{\sin\omega\pi} = 1 + 2\sum_{n=1}^{\infty} \frac{\omega^2}{\omega^2 - n^2} (-1)^n$$